

新春随想

「世の中にはやっつてよいこと、悪いことがある。」

正月早々説教じみた物言い、恐縮です。社会全体を見回したとき、これはやっつてはいけないだろう、手をつけてはいけないだろう、せめてもっと慎重にできないか、そのようなものがありませんか？

ぼくにとってそう思えるものの代表格は遺伝子組み換え作物と原子力発電(以下、原発)です。遺伝子組み換えとは、全く種の異なる生物の遺伝子をかけ合わせる技術、例えば除草剤を使っても枯れない大豆、葉や茎を食べた虫を殺してしまつトウモロコシなどが開発され実際に使われています。除草や防虫などにかかる農家の手間を大幅に減らし、増産が見込めることへの期待から世界で作付面積が増えています。遺伝子操作を受けた自然は人間が考えるような振る舞いだけをするのでしょうか？

除草剤への耐性を備えた植物、殺虫作用が効かない虫、そのような生物の登場

は現実のものとなりまし。そうなるより強力な除草や殺虫の作用を持たせ、いたち(こ)が始まるのでしよう。遺伝子組み換え作物は食べても安全とされていますが、本当にそう

としてもはやされてしました。

原発は発電時に二酸化炭素を出さない発電方式とされ、政府は地球温暖化対策としても原発促進の方針です。ところが原発で生じる放射性廃棄物の処理について見通しが立っていません。さらに原発に限らず人

という本、ここに描かれて

いるのは1999年に東海村で起きた臨界事故で放射線浴びた作業員大内さんが死に至るまでの83日間の記録です。この本を読んでなほ原発を推進すべきと考

くことが大切です。ぼくたちは命のつな

がりや影響について知らないことが多いことを謙虚に認め、もっと自然の姿に学びたいと思います。

遺伝子組み換えも

原子力利用も命への直接的な影響が大きい技術、長期的にどのような影響を及ぼすのかという不安だけでなく、こ

やっつてよいこと、悪いこと

県地球温暖化防止活動推進員 平島安人



間が作った技術には事故がつきものです。もちろん関係者は事故を起こさないよう日々取り組みを続けています。しかし技術には事故

が起きることを前提とし、そのうえで対策を用意しておくことが大切です。大量の放射線に対して人間はあまりにも無力です。NHK取材班による「朽ちていった命」(新潮文庫)

うに思えます。

昨年は「生物多様性」という言葉をどこかで見聞きしたのではないでしょうか。生物多様性の保全を考

えるとき、特定の生物種の存在そのもの大切さもあ

りますが、命のつながり、命が他の命に依存して存在していることを知り、多くの関わりの中で命が存在している状態を維持してい

くことが大切です。ぼくたちは命のつな

がりや影響について知らないことが多いことを謙虚に認め、もっと自然の姿に学びたいと思います。



ふるさと大衆

- 日溜まりの枯草集め猫の寝る
- 落ち葉踏み音を使ふ廃線路
- 米二台炊ける幸せ冬に入る
- 雪降るや吾人スタンドの列におり
- 西沢 寿子
- 柳沢 寿重
- 川崎 二郎
- 佐伯 治海
- 龍馬像腹すわりたる懐手
- 枯葉舞ふ映の無人の発電所
- しるるや石屋が刻む細き字よ
- 炬燵にも椅子ある暮し二人かな
- 横山 安雄
- 龍馬像腹すわりたる懐手
- 三代沢滋一
- 飯森 安美
- 塚田 和子
- 田の神も鼠も藁塚を寄辺とし
- 一匙の煮綴りに笑む父とをり
- 大々と穂高川より冬の虹
- 田中す多子
- 一志貴美子
- 岡村 光代
- 田口 秀子

講演会

のための経営と人材育成

を作るにはこうする
企業の戦略だ!

★優れた社員のつくり方
・会社の力になれる社員とは?

定員50名

日時:

平成23年1月30日(日)

場所:

深志神社 梅風閣

松本市深志3-7-43 TEL0263-32-6310